



39 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号
ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：津野友邦/幹事：稲垣良二/SAA：須田幸史朗

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



IMAGINE ROTARY

イマジンロータリー

本日の例会

〈第1773回〉 2022年12月20日(火) 本年度第18回

卓話

クリスマス夜例会

●ロータリーソング
ROTARY

●ランチタイムミュージック

次回の例会

1月17日(火)

次回卓話

クラブフォーラム(職業奉仕部門)

担当：田中(信) 会員

前回の報告

PRESIDENT INFORMATION

会長インフォメーション

会長：津野 友邦

本年度から会長を務めさせていただいていますが、ロータリークラブについてあまりにも知らないことが多いので少し勉強を進めてみようかとマイロータリーのwebサイトを覗いてみました。マイロータリーは多くのロータリーに関するコンテンツがあり、その中にラーニングセンターというコーナーがあります。これもなかなか豊富な内容で、主題別では、「ロータリーについて」「クラブのリーダーシップ」「地区のリーダーシップ」「一般」「会員増強」「専門的能力開発」「公共イメージ」「奉仕活動」「ロータリー財団」「研修リーダー」と10に分類されています。コースもたとえば「ロータリーの基本知識」「ロータリー財団基本コース」「クラブ会長の基本」、「スピーチの仕方」など100近くあり、新規コースが適宜追加されているようです。

その中で聞いたことがない「マイクロアグレッショ

ン」というコースがあったので受講してみました。

マイクロアグレッションとは、相手を差別したり、傷つけたりする意図がないのに、相手の心を傷つけてしまう発言をしてしまうことで、偏見や固定観念、または無意識のバイアスに基づく何気ない言動を通じて人に不快感を与えてしまうことを指しています。初めて聞いたので調べてみると結構注目されているワードの様でした。ジェンダーや年齢、性別、障がいの有無、肌の色などに基づいて日常的にマイクロアグレッションを経験している人が数多くいるということだと認識しました。

ラーニングでは、まずどういう発言が該当するのか、受けた場合はどう対応すべきなのか、気付いた周りは傍観者とならずにどう反応すべきなのか、自ら悪気無くしてしまった場合はどうすべきなのか、という内容でした。

(2ページに続く)

疾病予防と治療月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「クラブ存続のための会員増強～次の10年に向けて～」

ではどう言う発言がマイクロアグレッションに該当するのでしょうか。ラーニングの内容から一部を紹介いたします。

- ・人手不足でしたらプロジェクトを手伝いますよ(クラブ会長に対して)→該当しない
- ・料理がお上手なんですよ?(女性に対して)→該当する
- ・それは名案ですね!(若い人に対して)→該当しない
- ・若いのに考え方がしっかりしているね(若い人に対して)→該当する
- ・日本語が上手ですね(肌の色が違う人に対して)→該当する

如何でしょうか?

マイクロアグレッションは、ロータリーが強く推進しているDEI(「Diversity・多様性」「Equity・公平性」「Inclusion・包括性」)に関連する概念です。ロータリー活動の中で初めて知ったのですが、この1年で職場環境整備や人事・採用など多くの企業で重視され出しているのを実感しています。改めてロータリーは勉強になるなと思いました。皆様もラーニングコーナーを覗いてみては如何でしょうか。

幹事報告

幹事:稲垣 良二

12/6年次総会にて、次年度理事役員候補が承認され、総会後の理事会において、理事の担当が決められました。選出された理事役員の皆さま、次年度も一年よろしくお祈りいたします。

12/20のクリスマス夜例会、1/31の「やまと」での新年夜例会の開催が確認されました。

会員の退会について、水口会員は休会1年の為、清水会員は健康上の理由により退会が承認されました。

IM3組RDについて、山崎実行委員長よりメンバーを選任し1月に実行委員会を発足します。今後、皆様のご協力をお願いします。

IM3組RD準備委員会報告

委員長 山崎 修一

当クラブがホストを務めますIM3組ロータリーデーの日程が、2024年3月23日に決定いたしました。

会員の全員が参加、ということになりますので、皆様日程の確保をお願いいたします。

また来年からは準備委員会を実行委員会に名称変更してスタートいたします。皆様に実行委員会内部の各委員会の副委員長等をお願いいたしますので、よろしくご了解のほどお願いいたします。

広報・IT・会報・雑誌委員会報告

「ロータリーの友」12月号記事紹介 委員 菊井 康夫

【12月号 横組記事より】

P.7~15 【特集 疾病予防と治療月間】

ROTARIAN・つくるめし12月のお品書き

- ・健康めし…健康的な生活を支えるヘルシーな品々。高槻 RC・守田幸司会員が紹介されています。
- ・元気めし…これを食べれば、元気100倍! パワーの源の品々。大阪城南 RC・野村篤会員が紹介されています。
- ・ゲン担ぎめし…思い込みも時としては強い味方。別の名を勝負飯ともいいます。
- ・メの一口…生きていうちは元気であるための栄養学講座。シェフからの一言・ピンピンコロリは食事から、イマドキの食の新常識!?
- ・「料理をすること」がパワーフード。

P.21 【「Mr. ビーム」ノーベル物理学賞を受賞】

10月4日、ノーベル物理学賞が発表され、オーストリア・ウィーンウエスト RC 会員のアントン・ツァイリンガー(ニックネームがMr. ビーム)氏が選ばれました。他に受賞年順にノーベル賞を受賞したロータリアン14名も紹介されています。

【12月号 縦組記事より】

P.4~8 【SPEECH】

2022年3月19日 D2700 第7グループ IM 講演要旨 日本医師会名誉会長 横倉義武氏「コロナ禍とワンヘルス」
人間、動物、環境、この三つの健康は「ワンヘルス」、つながったもの、とする考え方は、医療の歴史と共に古くから伝えられてきたもので、決して新しい考え方、というわけではありませんが動物由来感染症が急増する近現代の現状への対応として、三つの健康をワンワールドで一つとする考え方が、21世紀になって国際的にも改めて注目されるようになりました。

P.9~12 【この人を訪ねて】

浦和中 RC 尾崎康さんを訪ねて。
弟 尾崎豊が歌う世界を胸に弁護士活動で

積み重ねた反骨精神や、生き急ぐ弟と悩む家族、修羅場くぐり弁護士を目指したお話しをしていただきます。

😊 NIKONIKO箱 😊

¥21,000.- 累計 ¥327,000.-

- 稲垣 会員 今年も残りわずかですね。一年大変お世話になりありがとうございました。12/20のクリスマス夜例会、楽しみましょう
- 覚野 会員 本日 卓話担当です。皆様よろしくお祈りします。
- 菊井 会員 今年も残り少しですが、皆さん元気で来年を向かえましょう
- 水間 会員 小生、先週の例会日にコロナにかかり、現在 自宅療養中です。ですので、今日の例会と来週のクリスマス例会は欠席させていただきます。今年は大変お世話になりました。どうかよいお年をお迎えください。新年明けに会いましょう。

大阪鶴見RC国際交流基金

¥15,000.- 累計 ¥88,000.-

- 中村 会員 予算達成の為!!
- 濃添 会員 今年もあとわずか。1年が早い!
- 田中(信)会員 中村委員長に協力します

卓話

空調の歴史

担当: 覚野会員



人類の文明は今から 7000年ほど前にチグリス・ユーフラテス川のメソポタミア地域で発生したとされている。

それに続きエジプトのナイル川流域、インドのインダス川流域、そして中国の黄河流域で、興隆した。4大文明の共通点は水が飛要な生活基盤であり、いずれも大河の流域であることと、忘れてはならないのは緯度が20~30度の地帯にあり、現在の先進国に比べるとかなり低緯度、すなわち温暖な亜熱帯地域に分布していることである。

しかし、その後、文の中心がなぜ、より北の涼しい寒い地域に移っていったのか。

これに関して大阪大学の名を教授であった新靖先生が環境と文明の関係に関する興味深い持論を述べられている。その著作の中で人間の思考には気温が大きな影響を果たしているというのである。

人間の知的満動は気温15℃前後が最適という説がある。近代の料学技術理論の基礎はドイツ、イギリス、フランス、スウェーデンなどの科学者が大きな役割を果たしたが、いずれも寒冷地域の国である。厳しい自然環境の中で生活を営む手段として、料学技術の発展が必要不可欠であったと思われるが、おそらく人間の知的活動に最適な温度だったことも影響していたことが考えられる。

地球の過去の気温をたどってみると、数百年の周期で寒暖を繰り返していることが知られている。世界の偉大な思想家はいずれも寒冷で社会情勢が不安定な時期に誕生していたことが分かる。また、文明の歴史をみてもアレキサンダー大王の東征、始皇帝の中国統一、ローマ帝国の繁栄、ルネッサンス文化の興隆などは温暖な気彼の時期に興っているのである。

日本でも万葉集や源氏物語のような世界に誇れる文学作品も、温暖な時期であった平安時代にかけて書かれている。

現在の地球は人為的な影等で温暖化が進んでいると言われているが、過去の地球の歴史から見ると長期的には寒冷期に入りつつあるという学者もいるようである。

前述の新津先生は「人間は環境の動物である」と述べられている。

その民族の文化は寝らしている地域の環境に大きく影響されるし、宗数も発生した地域によってその教義は決定的な違いが見られることは周知である。

(3ページより)

温暖で湿潤な地域で発生した仏教はユダヤ教やイスラム教などと比べても、極めて寛容な教義であることは周知のことである。

現在は科学技術の発展、特に冷凍空調技術のような生活環境を制御する技術により、人類の世界における活動(圏は大きく広がってきたし、これらの技術はわれわれの生活環境の向上に大きな役割を担っている。

冷凍空調の歴史

冷凍空調に関わる歴史は非常に古く、紀元前を知ることができる。中国の周の時代に山の容で氷水を作って飲んだという記録があるが、おそらく人類最古の冷然の利用の記録例であろう。

古代エジプトなどの砂地帯では素焼きの瓶に水を入れ夜間に外に出しておき、蒸発潜熱で冷却をしたことが知られている(図1.1)。この冷却方法は現在の冷凍・空調でも全く同じ原理である。

我が国においても自然の氷を氷室に貯蔵しておき、夏期に使用したという記録が日本書紀にも残っている。奈良にある氷室神社はこれらを祭ったものである。

冷凍空調の歴史は1800年頃を境に急速に変化した。

自然の氷や雪の利用ではなく、また季節に関係なく人工的に冷熱を作り出すことは長年の人類の夢であった。

それ以前は天然の氷や雪、あるいは自然蒸発気化熱を利用したものだったが、冷熱理論・冷凍機の発明・発見により大きく変化した。人工的に氷を作りたいという欲求は1824年のフランスのサディ・カルノーの冷凍サイクル理論によってスタートをし、1834年のパーキンスによるエチルエーテルを冷媒とした圧縮式冷凍機などによって実現することになったのである。

カルノーの理論は熱力学の第2法則を定式化したものであり、理想的熱機関サイクルを「カルノーサイクル」、その逆サイクルを「逆カルノーサイクル」と呼び、ヒートポンプの基本サイクルとなっている。

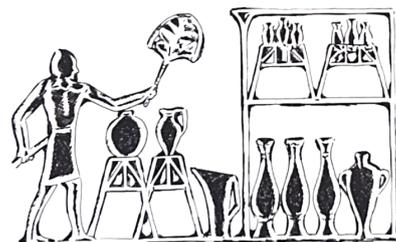


図1.1 古代の水の蒸発による冷却
(出典:「空調用ヒートポンプ」, 大塚政尚ほか)

| ☀️ 出席報告 | | 12月13日【1772回】 | |
|-----------|--------------|---------------|--------------|
| 会員数 | 28名 | ビジター | 0名 |
| (内出席規定免除) | 11名 | ゲスト | 0名 |
| 出席会員 | 16名中 11名 | 出席総数 | 15名 |
| 出席免除会員 | 11名中 4名 | 前々回 | 11/29 M/U 3名 |
| 休止会員 | 1名 | 修正出席率 | 83.33% |
| 出席率 | 15/20 75.00% | | |

本日のロータリーソング

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
that spells Rotary
R-O-T-A-R-Y, is known on land and sea
From North to South, from East to West
He profits most who serves the best
R-O-T-A-R-Y,
that spells Rotary